



2年学年通信

大阪市立佃中学校
2年 2月号
令和8年2月2日(月)発行

防災講話

1月19日(月)6限に講師の方をお招きし、31年前の1月17日にあった「阪神淡路大震災」と2年前の1月1日にあった「能登半島地震」について学習しました。講師の方には、辛かった経験を包み隠さず話していただき、当時の被害状況を知る貴重な機会となりました。

「阪神淡路大震災」のお話では、佃が大阪市で一番被害のあった地域だったとありました。当時の佃の写真をみて、驚いた人も多かったのではないのでしょうか。近い将来、大阪に大きな地震災害がくると予想されています。今回のお話を聞いた後、何か行動に移すことはできましたか。今回の防災講話では、みなさんに災害を自分事として捉えてもらいたいという思いがありました。「備えあれば憂いなし」という言葉がありますが、災害は想像を超えてくるものです。どれだけ備えていても被害にあってしまう可能性があります。その被害をどのように減らすかが重要です。みなさんの振り返りシートでは、やってみたい防災活動で「家族と避難経路を決めておく」や「防災バッグを用意する」、「地域の人と話し合う」などがありました。「聴いて学んだ」で終わるのではなく、防災・減災の活動へと繋げましょう。



○みんなの感想

- ・地震や津波で災害にあった人の思いを紡いで真剣に考えていきたいと思いました。
- ・佃地域でも道路が割れてしまったり、大きな被害があったことを初めて知った。今日のことをきっかけに家族ともう一度、色々と確認していこうと思いました。
- ・いつ災害がくるかわからないから家族と防災バッグを用意したり、避難経路を確認したり、自分や家族、友達の命を少しでも守れるようにしたいし、誰かの助けになれるようになりたい。
- ・避難所生活では、テントの中で寝たり、ダンボールハウスの中で寝たり、今の送っている生活とは全然違うなと思い、今の生活は当たり前のことじゃないのだと改めて感じました。



高校調べ

先日、3年生の進路に向けて、「高校調べ」を行いました。自分の進路ということもあって、皆さんとても集中して取り組めていました。

46期生進路学習テーマは「自ら探し、自ら選び、自らつかみとる!」です。自分の進路についてしっかりと向き合ってほしいと思います。そのためには時間をかけることが大切です。今回の取り組みは、その一歩目です。自主的に行動し、たくさんの高校を知ることによって自分の進みたい、学びたいことが見えてくるはずです。

月末には、学年末テストがあります。進路の意識を持つと勉強の取り組み方も変わってきますよ。

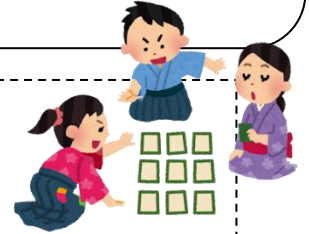


百人一首大会

2月5日(木)は百人一首大会クラス予選、来週の2月10日(火)には百人一首大会本戦があります。戦う準備はできていますか？百人一首は覚えることがとても重要な競技です。昔の言葉で覚えにくいとは思いますが、「恋」や「四季」の歌が多く、解説を読めば共感できるものも多くあります。ただ単に覚えるだけでなく、お気に入りの一首を見つけてみてください。そのこだわりがクラスの勝利へ導くかもしれません。

ちなみに、一字決まりは「む・す・め・ふ・さ・ほ・せ」です。この七首を巡る熱い戦いをぜひ見せてください。

「One for all, All for one」の精神で一首でも多く、覚えましょう。



56番(三字決まり)

あらざらむ この世のほかの思ひ出に

今ひとたびの あふこともがな

和泉式部

〈現代語訳〉 先のない命なので死後のあの世での思い出とするために、
せめてもう一度、あなたにお逢いたいものです。

〈2月の主な行事予定〉

2	月	生徒専門委員会
3	火	生徒議会
5	木	百人一首大会 クラス予選
9	月	月 654321
10	水	水 123456 百人一首大会 本戦
12	木	45分×5 木 1234 水 5 小中交流会

16	月	<u>要弁当</u>
17	火	学年リーダー会議
18	水	テスト一週間前
24	火	45×6
25	水	学年末テスト①(数・国・保体)
26	木	学年末テスト②(理・社・技家)
27	金	学年末テスト③(英・音)

※予定変更の場合もございますので、学校ホームページ、ミマモルメのメールも合わせてご覧ください。

＜保護者の皆様へ＞

平素より、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。2年生の行事もわずかなどなってきました。今月は百人一首大会や小中交流会、学年末テストがございます。小中交流会では、現2年生が中心となって準備を進めています。子どもたちも人前に立つ経験や上級生としての責任を通して自分たちの成長を感じていると思います。3年生の0学期として過ごす3学期ですが、確実に3年生に向けて進むことができています。引き続き、私たち教職員と保護者の皆さまと力を合わせて、子どもたちの成長を支えていきたいと思っています。ご理解とご協力よろしくお願いいたします。